

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場会社名 株式会社 インテージホールディングス
 コード番号 4326 URL <http://www.intageholdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 宮首 賢治
 (氏名) 池谷 憲司

TEL 03-5294-7411

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	31,754	5.4	2,664	3.7	2,711	7.1	1,628	△43.9
27年3月期第3四半期	30,136	4.3	2,569	33.8	2,532	37.8	2,902	217.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,667百万円 (△45.6%) 27年3月期第3四半期 3,063百万円 (191.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	81.56	—
27年3月期第3四半期	144.81	—

(注) 1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第3四半期	34,296		21,000		60.8	
27年3月期	33,301		19,917		59.3	

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 20,848百万円 27年3月期 19,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				32.50	32.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	4.7	3,800	6.4	3,770	9.4	2,400	△2.6	120.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	20,118,000 株	27年3月期	20,118,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	156,092 株	27年3月期	159,752 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	19,960,670 株	27年3月期3Q	20,040,942 株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、役員向け株式給付信託として保有する当社株式を含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日）におけるわが国経済は、輸出や工業生産に一部に慎重な動きがみられるものの、企業部門、個人消費など総じて良好な水準を維持しております。

一方、海外経済は、先進国を中心に緩やかな回復を続けているものの、中国をはじめとするアジア新興国・資源国経済の減速や米国経済の回復ペースなど、依然としてリスクを抱えた状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高31,754百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益2,664百万円（同3.7%増）、経常利益2,711百万円（同7.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,628百万円（同43.9%減）となりました。

事業分野別の状況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、開示セグメントを従来の提供サービスをベースとした「市場調査・コンサルティング」、「システムソリューション」及び「医薬品開発支援」の3区分から、顧客業界と提供サービスをベースとした「マーケティング支援（消費財・サービス）」、「マーケティング支援（ヘルスケア）」及び「ビジネスインテリジェンス」の3区分に変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① マーケティング支援（消費財・サービス）事業

マーケティング支援（消費財・サービス）事業は、対話型プロモーション、i-SSP（インテージシングルソースパネル）といったコミュニケーション分野や、カスタムリサーチの既存調査及びインターネット調査が好調に推移したものの、重点領域であるコミュニケーション分野において事業拡大に係る費用が引き続き発生したことにより、増収減益となりました。

この結果、マーケティング支援（消費財・サービス）事業の連結業績は、売上高20,676百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益1,122百万円（同6.8%減）となりました。

② マーケティング支援（ヘルスケア）事業

マーケティング支援（ヘルスケア）事業は、平成26年6月2日付で実施した株式会社アスクレップにおける一部事業譲渡による売上高の減少が影響したものの、株式会社アンテリオにおけるカスタムリサーチの既存調査及びインターネット調査が好調に推移したことなどにより、売上高は前年をやや上回りました。また、営業利益においても収益性の高い案件の伸びや事業の譲渡によるコスト削減が奏功し、増収増益となりました。

この結果、マーケティング支援（ヘルスケア）事業の連結業績は、売上高7,385百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は1,317百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

③ ビジネスインテリジェンス事業

ビジネスインテリジェンス事業は、旅行分野においてシステム構築案件を受注するなど堅調に推移したものの、前年同期の大型案件の反動により、減収減益となりました。

この結果、ビジネスインテリジェンス事業の連結業績は、売上高3,692百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益224百万円（同25.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ398百万円増加し、21,959百万円となりました。これは、現金及び預金が216百万円、受取手形及び売掛金が578百万円減少したものの、仕掛品が1,291百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ596百万円増加し、12,337百万円となりました。これは、投資有価証券が440百万円、退職給付に係る資産が250百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は994百万円増加し、34,296百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ335百万円減少し、9,706百万円となりました。これは、短期借入金が2,279百万円増加したものの、買掛金が209百万円、未払法人税等が1,461百万円、賞与引当金が676百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ246百万円増加し、3,588百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は89百万円減少し、13,295百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,083百万円増加し、21,000百万円となりました。これは、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月12日付「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。

また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得
原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更い
たします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行って
おります。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連
結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,377,976	8,161,374
受取手形及び売掛金	9,208,868	8,630,045
仕掛品	1,384,402	2,675,894
貯蔵品	34,248	63,088
繰延税金資産	1,101,731	1,061,727
その他	1,459,689	1,370,843
貸倒引当金	△6,080	△3,610
流動資産合計	21,560,835	21,959,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,697,196	1,580,311
器具備品(純額)	352,604	314,670
土地	1,998,156	1,998,156
リース資産(純額)	701,303	838,855
その他(純額)	0	0
有形固定資産合計	4,749,261	4,731,993
無形固定資産		
のれん	537,893	356,456
その他	1,326,726	1,397,956
無形固定資産合計	1,864,619	1,754,412
投資その他の資産		
投資有価証券	1,576,565	2,017,242
繰延税金資産	796,429	547,254
退職給付に係る資産	1,569,521	1,820,303
その他	1,184,534	1,466,235
貸倒引当金	—	△298
投資その他の資産合計	5,127,050	5,850,738
固定資産合計	11,740,931	12,337,144
資産合計	33,301,766	34,296,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,462,048	2,252,840
短期借入金	57,000	2,336,458
リース債務	300,957	316,065
未払法人税等	2,074,960	613,390
賞与引当金	1,492,541	816,509
ポイント引当金	960,968	1,072,661
役員賞与引当金	6,000	7,878
株式給付引当金	3,095	—
その他	2,685,027	2,291,108
流動負債合計	10,042,599	9,706,913
固定負債		
長期借入金	—	200,000
役員退職慰労引当金	4,000	—
株式給付引当金	23,778	22,941
退職給付に係る負債	2,840,888	2,757,889
リース債務	473,460	604,614
その他	—	3,250
固定負債合計	3,342,126	3,588,695
負債合計	13,384,726	13,295,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,400	1,681,400
資本剰余金	1,336,688	1,336,688
利益剰余金	15,692,531	16,732,429
自己株式	△221,537	△216,388
株主資本合計	18,489,081	19,534,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,557	247,035
為替換算調整勘定	532,426	460,566
退職給付に係る調整累計額	603,819	606,417
その他の包括利益累計額合計	1,249,803	1,314,019
非支配株主持分	178,154	152,749
純資産合計	19,917,039	21,000,898
負債純資産合計	33,301,766	34,296,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	30,136,198	31,754,087
売上原価	21,360,777	23,228,921
売上総利益	8,775,421	8,525,165
販売費及び一般管理費	6,205,791	5,861,025
営業利益	2,569,629	2,664,139
営業外収益		
受取利息	1,794	4,359
受取配当金	31,247	35,262
受取保険金及び配当金	43,330	10,777
その他	38,409	29,335
営業外収益合計	114,782	79,735
営業外費用		
支払利息	24,736	10,674
持分法による投資損失	101,094	8,170
その他	25,738	13,406
営業外費用合計	151,568	32,251
経常利益	2,532,843	2,711,623
特別利益		
関係会社株式売却益	2,911,668	-
負ののれん発生益	8,154	-
特別利益合計	2,919,822	-
特別損失		
減損損失	138,792	-
特別退職金	131,420	-
退職給付制度終了損	284,838	-
関係会社株式評価損	-	121,483
その他	10,929	11,297
特別損失合計	565,979	132,781
税金等調整前四半期純利益	4,886,687	2,578,842
法人税、住民税及び事業税	1,697,458	737,791
法人税等調整額	278,292	230,267
法人税等合計	1,975,751	968,059
四半期純利益	2,910,935	1,610,782
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8,889	△17,249
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,902,046	1,628,032

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,910,935	1,610,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,948	133,477
為替換算調整勘定	74,481	△79,797
退職給付に係る調整額	64,309	2,597
その他の包括利益合計	152,740	56,278
四半期包括利益	3,063,675	1,667,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,046,096	1,692,248
非支配株主に係る四半期包括利益	17,579	△25,186

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	19,062,320	7,282,097	3,791,780	30,136,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	19,062,320	7,282,097	3,791,780	30,136,198
セグメント利益	1,205,047	1,063,895	300,686	2,569,629

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (千円)
	マーケティング支援 (消費財・サービス) (千円)	マーケティング支援 (ヘルスケア) (千円)	ビジネス インテリジェンス (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	20,676,225	7,385,587	3,692,274	31,754,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	20,676,225	7,385,587	3,692,274	31,754,087
セグメント利益	1,122,749	1,317,263	224,126	2,664,139

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織構造の変更及び管理区分の見直しを行ったことに伴い、報告セグメントを従来の「市場調査・コンサルティング」、「システムソリューション」及び「医薬品開発支援」の3区分から、「マーケティング支援(消費財・サービス)」、「マーケティング支援(ヘルスケア)」及び「ビジネスインテリジェンス」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。